獨協医科大学総合周産期母子医療センター産科部門統計

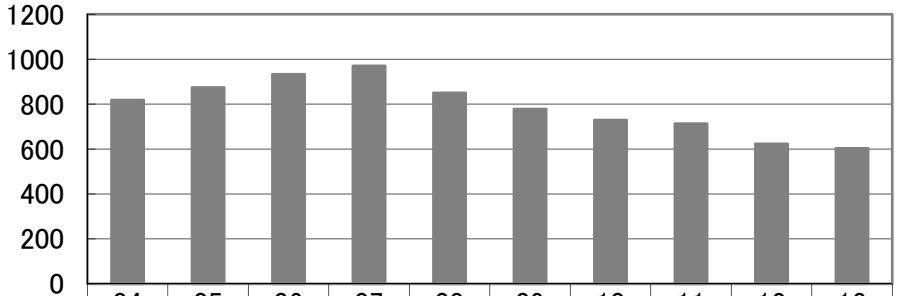
渡辺　博

2013年の産科部門の統計をお示しします。
分娩数・出産児数は2007年をピークに減少しています。
前年に引き続き、担当医師の負担を軽減するために、分娩の制限を行っています。
原則としてローリスク妊婦は他施設にお願いし、母体搬送・ハイリスク妊娠は受け入れる方針としております。

Ⅰ. 経年毎の推移

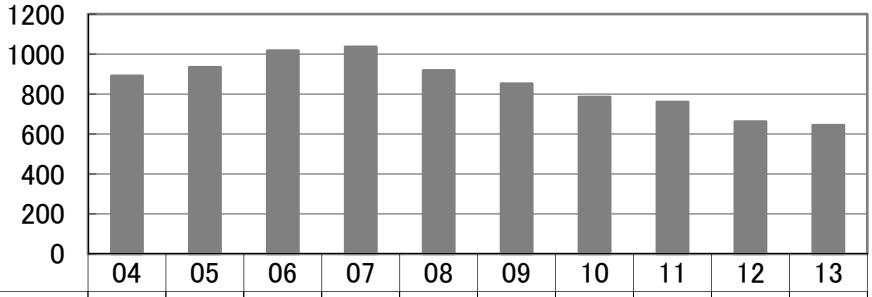
1. 分娩数（出産児数）

分娩数



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
分娩数	818	874	933	970	850	778	729	713	623	603

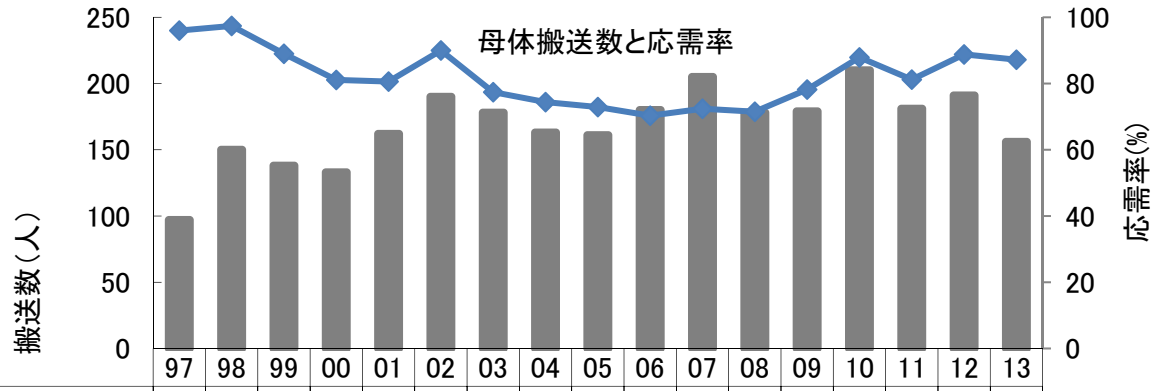
出産児数



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
出産児数	891	934	1017	1036	918	852	785	760	662	644

2013年の分娩数は603件(−20件)、出産児数644名(−18名)、と6年連続減少しました。
2008年から他施設からの紹介を原則とする方針に転換したためです。

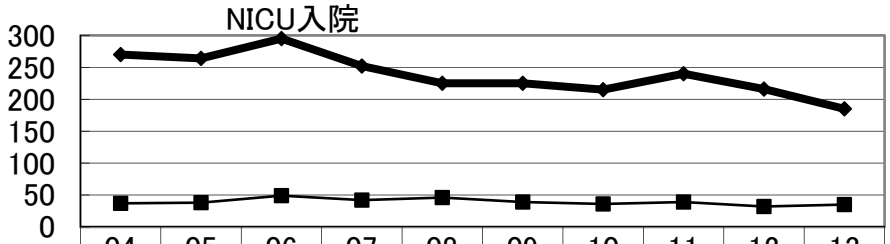
2. 母体搬送



	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
母体搬送数	97	150	138	133	162	190	178	163	161	180	205	178	179	210	181	191	156
応需率	96	97	89	81	81	90	77	74	73	70	72	72	78	88	81	89	87
搬送依頼数	101	154	155	164	201	211	230	219	221	256	283	249	229	239	223	215	179

2013年の母体搬送数・依頼数は減少しましたが、応需率は例年並みでした。

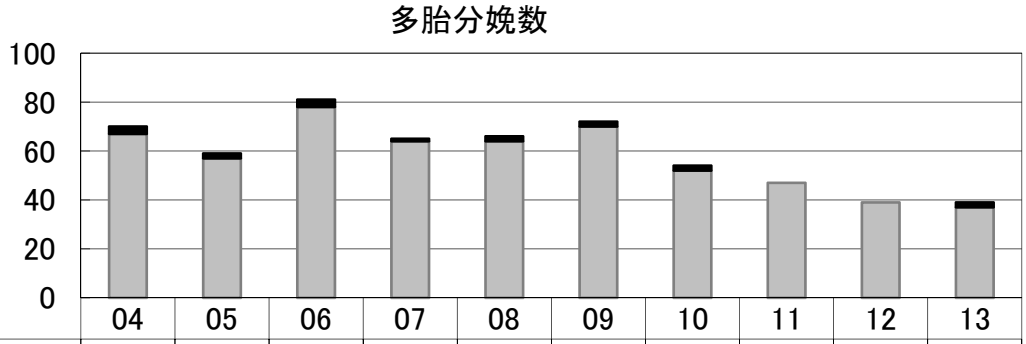
3. NICU入院



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
NICU入院数	270	264	295	252	225	225	215	240	216	185
超低出生体重児数	37	38	49	42	46	39	36	39	32	35

昨年はNICU入院児は減少しましたが、出生体重1000g未満の超低出生体重児は横這いでした。

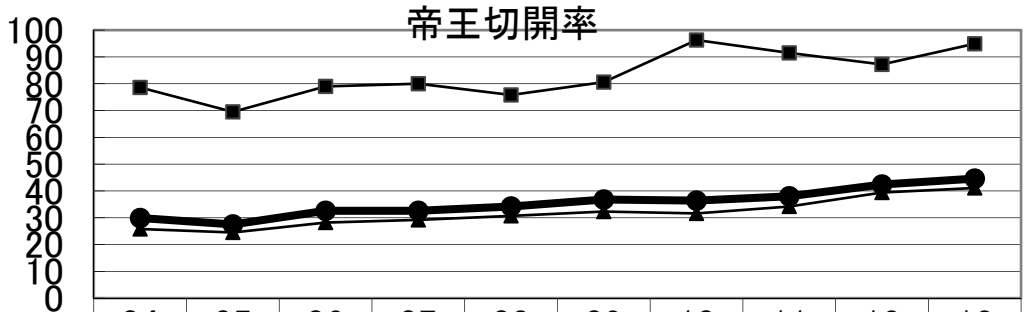
4. 多胎妊娠



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
品胎	3	2	3	1	2	2	2	0	0	2
双胎	67	57	78	64	64	70	52	47	39	37

多胎妊娠は減少していますす。品胎妊娠が2例みられました。

5. 帝王切開



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
総数	29.9	27.5	32.6	32.6	34.2	36.8	36.4	38	42.4	44.6
多胎	78.6	69.5	79	80	75.8	80.6	96.3	91.5	87.2	94.9
単胎	25.8	24.5	28.2	29.2	30.7	32.3	31.6	34.2	39.4	41.1

帝王切開率もローリスク妊娠の減少に伴い着実に増加傾向にあり、昨年も過去最高を更新しました。

Ⅱ. 2013年の統計(2012年との比較)

1. 母親の年齢・経産

	2013年				2012年		
	総　数	初　産	経　産		総　数	初　産	経　産
-19歳	14	13	1	-19歳	6	6	0
20-24歳	43	33	10	20-24歳	46	25	21
25-29歳	130	76	54	25-29歳	123	62	61
30-34歳	194	79	115	30-34歳	208	80	128
35-39歳	173	75	98	35-39歳	184	61	123
40歳-	49	27	22	40歳-	56	23	33
計	603	303	300	計	623	257	366

高年出産の増加傾向は続いています。一昨年から40歳以上の母親が、20-24歳の母親を上回りました。

2. 出産体重とNICU入院数

	2013年	2012年
総　数	644	662
- 499g	8	13
500- 999g	33	30
1,000-1,499g	32	30
1,500-1,999g	63	43
2,000-2,499g	97	125
2,500-2,999g	198	200
3,000-3499g	159	171
3,500-3,999g	47	45
4,000g-	7	5
2500g未満	36.2%	36.4%

	2013年	2012年
NICU入院数	185	216
- 499g	3	6
500- 999g	32	26
1,000-1,499g	31	30
1,500-1,999g	62	42
2,000-2,499g	41	63
2,500-2,999g	9	31
3,000-3499g	6	14
3,500-3,999g	1	4
4,000g-	0	0
1500g未満	66	62
NICU入院率	28.7%	32.6%

全出産児の1/3強が低出生体重児であり、NICUにも出生児の1/3が入院しています。
2013年NICUに入院した1500g未満の極低出生体重児は66名でした。

3. 在胎週数

2013年	総　数	単　胎	多　胎
	603	564	39
22-27W	31	29	2
28-32W	47	41	6
33-36W	97	71	26
37-39W	266	261	5
40-41W	159	159	0
42W-	3	3	0
早産率	29.0%	25.0%	71.8%

2012年	総　数	単　胎	多　胎
	623	584	39
22-27W	38	35	3
28-32W	35	34	1
33-36W	111	87	24
37-39W	298	288	10
40-41W	139	138	1
42W-	2	2	0
早産率	29.5%	26.7%	71.8%

早産率は横這いです。

4. 分娩様式

(1) 全分娩

	2013年	(%)	2012年	(%)
分娩数	603		623	
経膣分娩	334	62.1	359	57.6
帝王切開	269	44.6	264	42.4

(2) 単胎

	2013年	(%)	2012年	(%)
分娩数	564		584	
正常分娩	309	54.8	337	57.7
帝王切開	232	41.1	230	39.4
吸引分娩	21	3.7	14	2.4
骨盤位分娩	2	0.4	3	0.5
鉗子分娩	0	0	0	0

(3) 多胎

	2013年	(%)	2012年	(%)
分娩数	39		39	
品胎	2	5.1	0	0
出産児数	80		78	
正常分娩	2	2.5	10	12.8
帝王切開	76	95	68	87.2
吸引分娩	0	0	0	0
骨盤位分娩	2	2.5	0	0
帝切件数	43*	91.5	34	87.2

単胎の帝切率は過去最高となりました。

(参考) 夫立ち会い出産

	2013年	2012年
総数	375	359
	62.2%	57.6%
経膣分娩	259	261
	77.5%	72.7%
帝王切開	116	98
	43.1%	37.1%

夫(家族)立ち会い出産は
増加しています。
経膣分娩では80%弱
帝王切開でも40%強でした。

5. 周産期死亡

(1) 死産・死亡数

	2013年	2012年
生産数	638	649
死産数	6	13
早期新生児死亡数	3	3
後期新生児死亡数	0	0
周産期死亡率	14.0‰	24.2‰

(2) 周産期死亡原因

	2013年	2012年
死　産	6	13
先天異常	0	1
臍帯因子	1	1
多胎一児死亡	1	5
常位胎盤早期剥離	1	1
高度FGR	0	4
不明・その他	3	1
早期新生児死亡	3	3
先天異常	0	2
未熟性	1	1
高度FGR	1	0
感染	1	0

6. 紹介・搬送関連

(1) 紹介妊婦の内訳

	2013年	2012年
母体搬送	156	191
(うち産褥搬送)	(7)	(16)
ハイリスク紹介	150	241
セミオープン	17	31
その他外来紹介	164	140
帰省分娩	40	33
逆搬送	26	32
紹介妊婦合計	527	636

母体搬送・逆搬送以外は当院で出産した人数です。
引き続き積極的に逆搬送を行っています。

(2) 母体搬送元施設

	2013年	2012年
総合周産期母子医療センター	1	2
地域周産期母子医療センター	23	20
一般病院	3	7
個人病医院	105	126
他県	12	24
救急隊	12	12
合計	156	191

(3) 搬送母体の転帰(産褥搬送を除く)

	2013年	2012年
流産	3	3
早産	95	102
22-27週	24	30
28-32週	35	32
33-36週	36	40
正期産・過期産	39	35
出産前の逆搬送	32	35

(4) 母体搬送依頼と受入

	2013年	2012年
搬送依頼数	179	215
搬送受入数	156	191
搬送不能数	23	24
応需率	87.2%	88.8%

(5)都県別搬送依頼と受入実績

2013年

	依頼件数	受入件数	(%)
栃　木	162	144	88.9
茨　城	21	18	85.7
埼　玉	12	10	83.3
群　馬	11	7	63.6
福　島	2	2	100.0
県外合計	46	37	80.4

2012年

	依頼件数	受入件数	(%)
栃　木	186	167	89.8
茨　城	12	11	91.7
埼　玉	7	5	71.4
群　馬	8	6	75.0
東　京	1	1	100.0
宮　城	1	1	100.0
県外合計	29	24	82.8